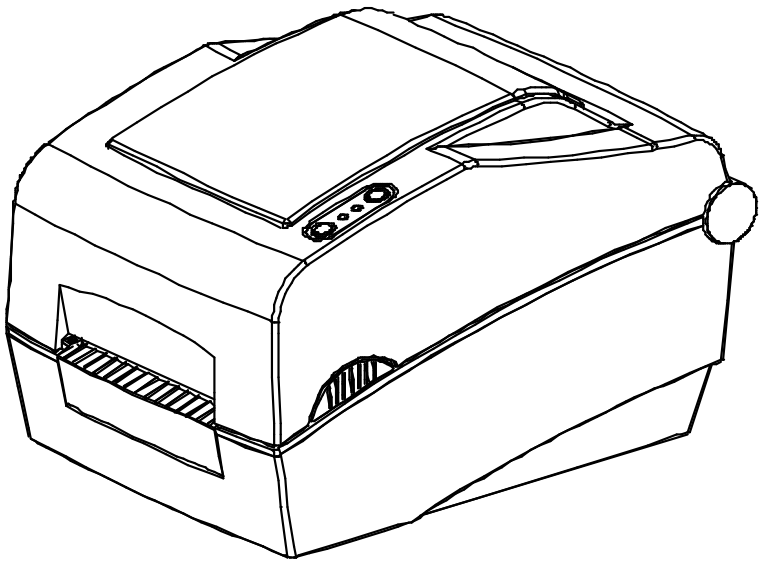
BIXOLON®

使用取扱説明書
ラベルプリンタ

Rev. 1.02

SLP-TX400 / TX400E
SLP-TX403 / TX403E



http://www.bixolon.com

■ 目次

※ マニュアルインフォメーションおよびび使用上の注意 3

1. 内容物の確認 7

2. 製品各部名称 8

3. 取り付け&使用 10
3-1 電源の接続 10
3-2 インターフェースケーブルの接続 11
3-3 紙の取り付け 13
3-4 リボンの取り付け 14
3-5 LEDディスプレイ 18
3-6 テスト印刷 20

4. 自己診断 21

5. 詳細な機能 22
5-1 ユーティリティプログラムを使ったプリンタ設定 22
5-2 プリンタ単独設定モード (Stand-alone Configuration Mode) 23
5-3 ポーズ/キャンセル 24
5-4 メディア設定 (Media Calibration) 25
5-5 メディア自動感知 (Smart Media Detection) 26
5-6 ギャップセンサー自動補正モード (Gap Sensor Auto Calibration Mode) 26
5-7 ブラックマークセンサー自動補正モード (B/M Sensor Auto Calibration Mode) 27
5-8 メディア手動補正モード (Manual Calibration Mode) 28
5-9 カバークローズモード (Cover Closing Mode) 29
5-10 受信データ出力モード (Data Dump Mode) 29
5-11 工場設定に初期化 (Factory Reset) 30
5-12 ファームウェアダウンロード 30
5-13 ピールオフ 31
5-14 ファンフォールドペーパーの使用 33
5-15 自動カッター (Auto Cutter / SLP-TX40xC) 34

6. ヘッドの清掃 35
6-1 ヘッドの清掃 35
6-2 センサ、ローラーおよびペーパーパスの清掃 36

7. 付記 37
7-1 仕様 37
7-2 ラベルの種類 37

■ 使用取扱説明書について

この使用取扱説明書には製品使用にかんする基本的な情報および、非常時に必要となりうる対処法が掲載されています。

※ 以下に挙げる別冊の取扱説明書には、技術的問題や分野についてのより詳細な説明が書かれています。

1. Windousドライバマニュアル
Windowsドライバのインストールおよび主な機能について説明しています。

2. 統一ラベルプリンタユーティリティマニュアル
この製品の機能選択や作業状況の変更に使うソフトウェアについての情報が掲載されています。

3. プログラミング(SLCS)マニュアル
ラベルプリンタコマンドについて書かれています。

4. Trueフォントダウンローダーマニュアル
Trueフォントをダウンロードしデバイスフォントとして簡単に使用できるようにするフォントダウンローダーの使用について説明しています。

5. Ethernetインターフェースマニュアル
Ethernetインターフェースの設定と使用について説明しています。

6. ラベルデザインプログラムマニュアル
テキストや画像、バーコードを好きな場所に置いてラベルを作成することのできるWindows PCプログラムについて説明しています。

BIXOLON社では当社製品すべての機能と品質の拡張・改善のために常に努力を重ねています。このため、製品スペックや使用説明書は予告なしに変更することがあります。

■ 安全にご使用いただくために

本製品をご使用の際には、怪我や損傷を防ぐために以下の安全規制をお守りください。

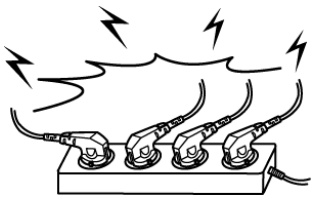
警告

以下の指示に従わない場合、重大な怪我および死亡事故の原因となることがあります。

延長コードに複数の製品を接続しないでください。

- 過熱および火災の恐れがあります。
- プラグが濡れていたり汚れていたりする場合は、使用前に拭き取ってください。
- プラグがソケットにしっかりとはまらない場合は、使用しないでください。
- 延長コードは基準を満たすもののみご使用ください。

禁止



正規品以外のアダプタは使用しないでください。

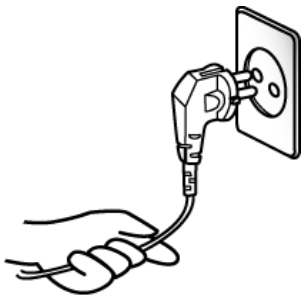
- これ以外のアダプタの使用は危険です。

禁止

プラグを抜く際は引っぱらないでください。

- ケーブルに損傷が生じ、火災やプリンタの故障の原因となることがあります。

禁止



プラスチックの袋はお子さまの手の届かないところに管理してください。

- お子さまが袋を頭に被って遊ぶ恐れがあります。

禁止

プラグの抜き差しは濡れた手で行わないでください。

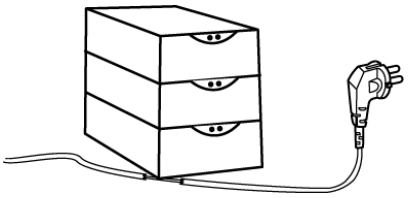
- 感電の恐れがあります。

禁止

ケーブルを無理に曲げたり、重いものを載せたりしないでください。

- ケーブルが損傷すると火災の恐れがあります。

禁止



注意

以下の指示に従わない場合、怪我や機器の損傷の原因となることがあります。

プリンタから煙や異臭、異常な音が発生した場合は、まずプラグを抜いてください。

- プリンタの電源を切り、ソケットからプラグを抜きます。
- 煙が消えたのを確認し、代理店に修理を依頼してください。

乾燥剤はお子さまの手の届かないところに管理してください。

- お子さまが食べる恐れがあります。

プリンタは安定した場所に設置してください。

- プリンタが転倒すると、故障や怪我の原因となることがあります。

付属品は正規品のみ使用し、ご自分で修理や改造をしないでください。

- 修理は代理店にご依頼ください。
- 自動カッターの刃には触れないでください。

プリンタには水や異物を入れないでください。

- これが起こった場合は電源を切り、プリンタのプラグを抜いた後、代理店にご連絡ください。

故障したプリンタは使用しないでください。火災や感電の恐れがあります。

- 電源を切り、
プリンタのプラグを抜いた後、代理店にご連絡ください。

■ その他のご注意

この使用取扱説明書およびその他関連説明書に関する著作権はBIXOLON Co., Ltd.が所有しています。使用取扱説明書およびその他関連をBIXOLON Co., Ltd.の書面による承諾なしに複写、複製、翻訳そして電子メディアおよび機械にて読み取り可能な形式に変換することは固く禁じられています。

この使用取扱説明書に記載されている情報の使用については特許の責任範囲外となります。使用取扱説明書は細心の注意を払って作成されていますが、なんらかの誤脱がある場合もあります。

この使用取扱説明書に記載されている情報の使用に関して起こりうる損傷について、BIXOLON Co., Ltd.は一切責任を負いません。

BIXOLON Co., Ltd.およびその関連会社は（アメリカ合衆国を除く）、BIXOLON Co., Ltd.提供の情報および指示に正しく準拠しそれを維持しなかったこと、およびユーザおよび第三者による製品の非正規の改造、修理または変更に起因する製品の故障、不機能、誤使用によって引きおこされる損傷、費用および経費に関して責任を一切負いません。

BIXOLON Co., Ltd.はBIXOLON製品および正規製品以外のオプション品や部品の使用による故障や問題について責任を一切負いません。

⚠ ***警告***

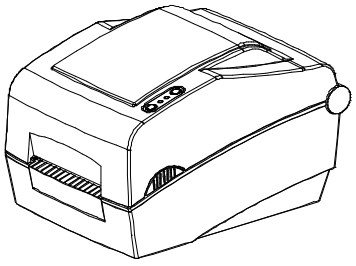
保護されていないインターフェースケーブルを使用すると、EMC規格の違反となります。ユーザーはBIXOLON認定のケーブル以外は使用しないでください。

■ WEEE (廃電気・電子機器)

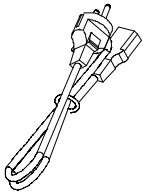
製品または製品取扱説明書上のこのシンボルは、その製品が他の家庭廃棄物とともに処理してはならないものであることを示しています。廃棄物の不適切な処分により環境や人体に害が及ぶことのないよう、このシンボルのついた製品はほかのゴミとは分別し、責任をもってリサイクルを行うことで資源の持続可能な再使用を推進してください。この製品を安全にリサイクルするための場所や方法については、製品をご家庭でご利用の場合は購入元の販売店もしくはお住まいの地域の市役所などにお問い合わせください。ビジネスユーザのみなさまは、取引業者にご連絡のうえ、購入時の条件などをご確認ください。この製品はほかの事業系ゴミとは分別して処分してください。

1. 内容物の確認

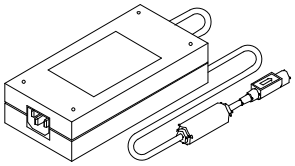
プリンタの梱包には以下のものが同梱されています。部品の欠損があった場合は、代理店にご連絡ください。



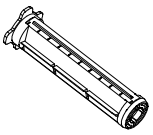
SLP-TX400/TX403



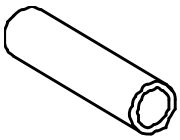
電源コード



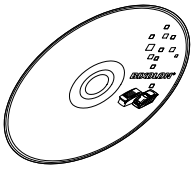
ACアダプタ



ホルダーリボン(2本)



芯



CD

使用取扱説明書

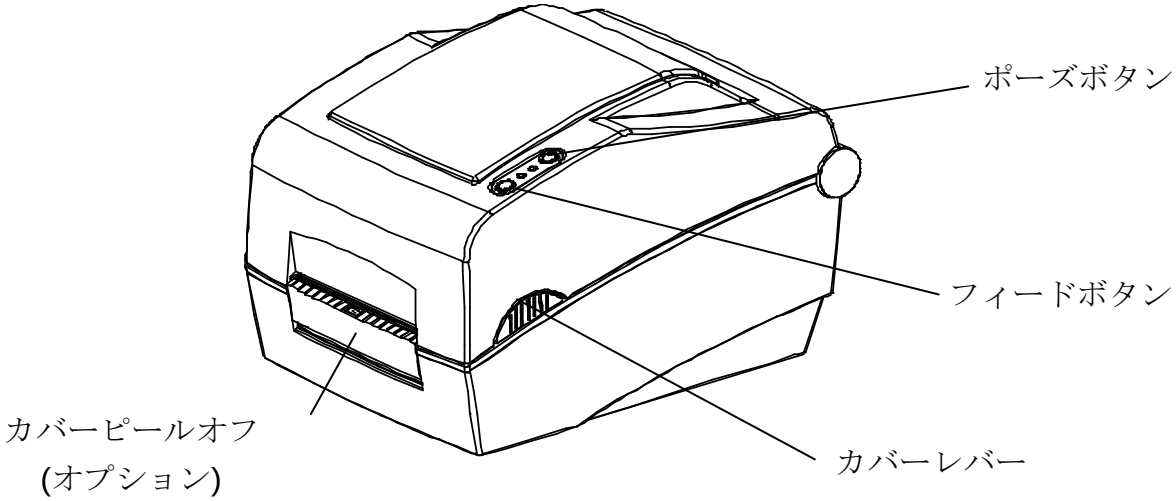
※ オプション品

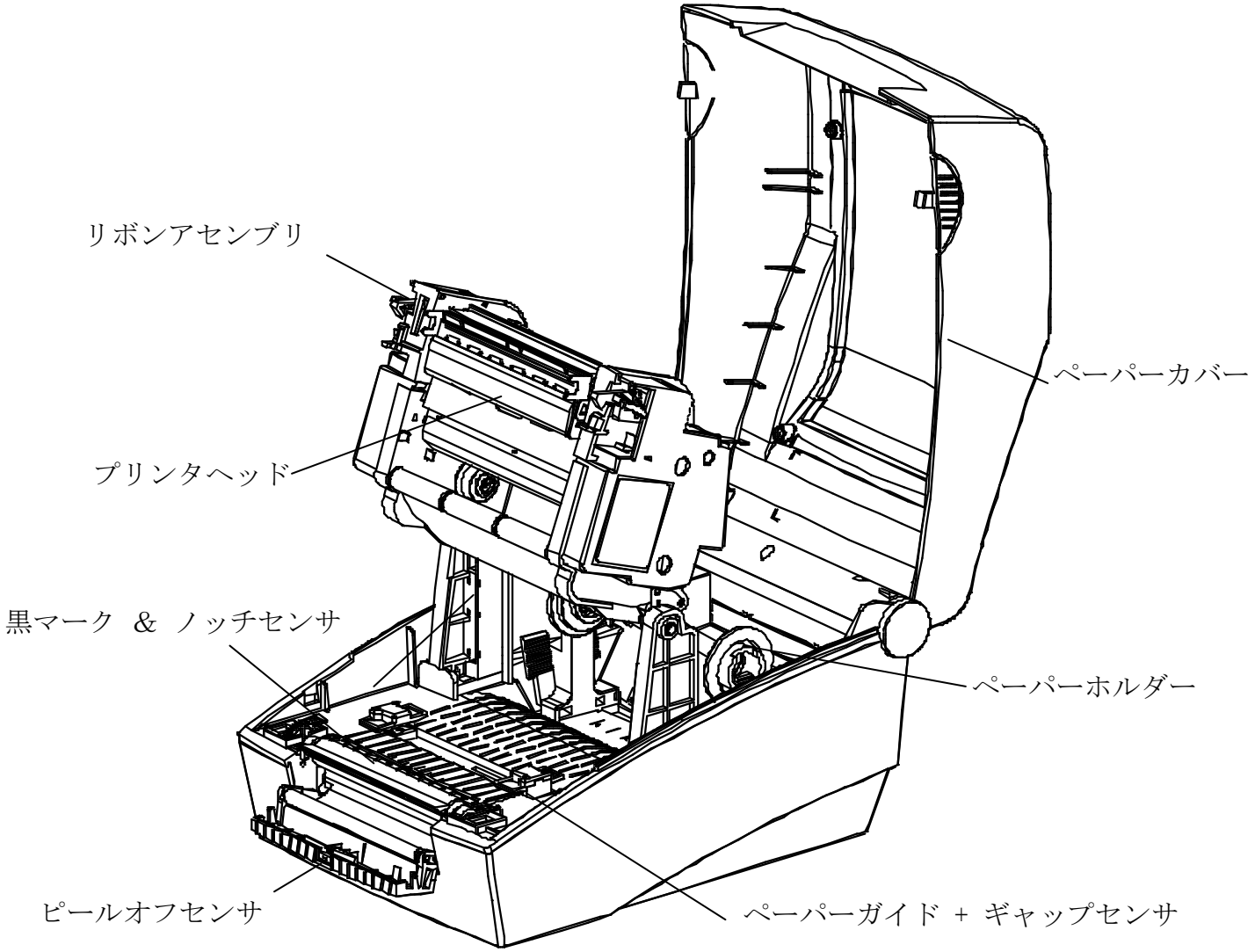
RS-232C(シリアル)ケーブル

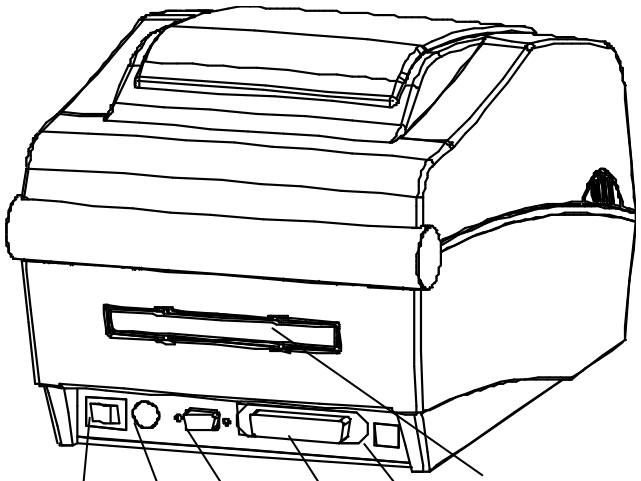
IEEE1284(パラレル)ケーブル

USBケーブル

2. 製品各部名称


ポーズボタン
フィードボタン
カバーピールオフ
(オプション)
カバーレバー


リボンアセンブリ
ペーパーカバー
プリンタヘッド
黒マーク ＆ ノッチセンサ
ペーパーホルダー
ピールオフセンサ
ペーパーガイド + ギャップセンサ



ファンフォルドor外付けペーパー

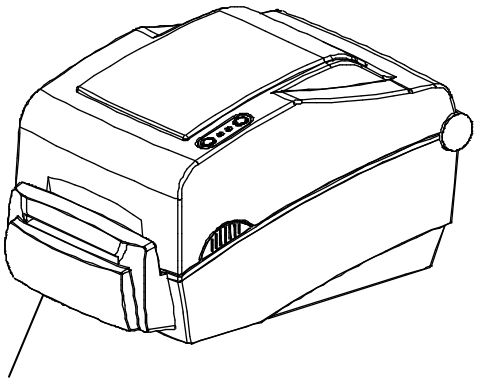
USB

電源スイッチ

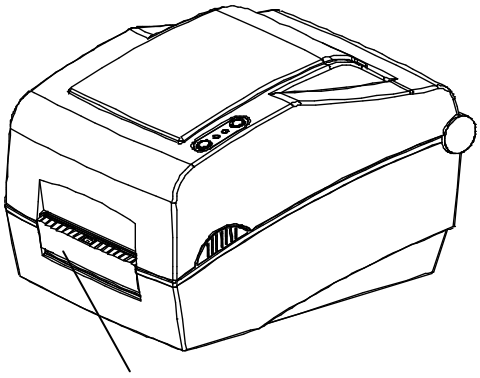
IEEE1284(パラレル)

電源ジャック

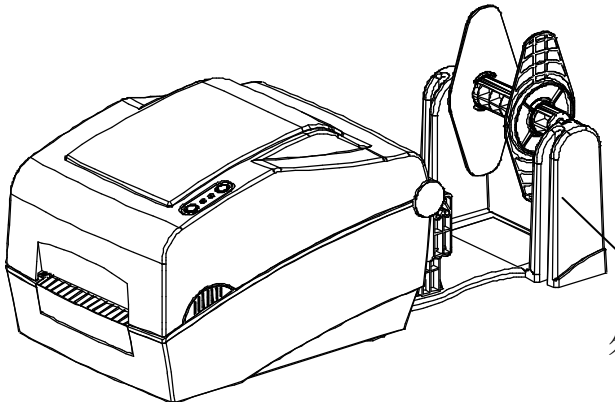
RS-232C(シリアル)



自動カッター
(オプション)



カバーピールオフ
(Option)

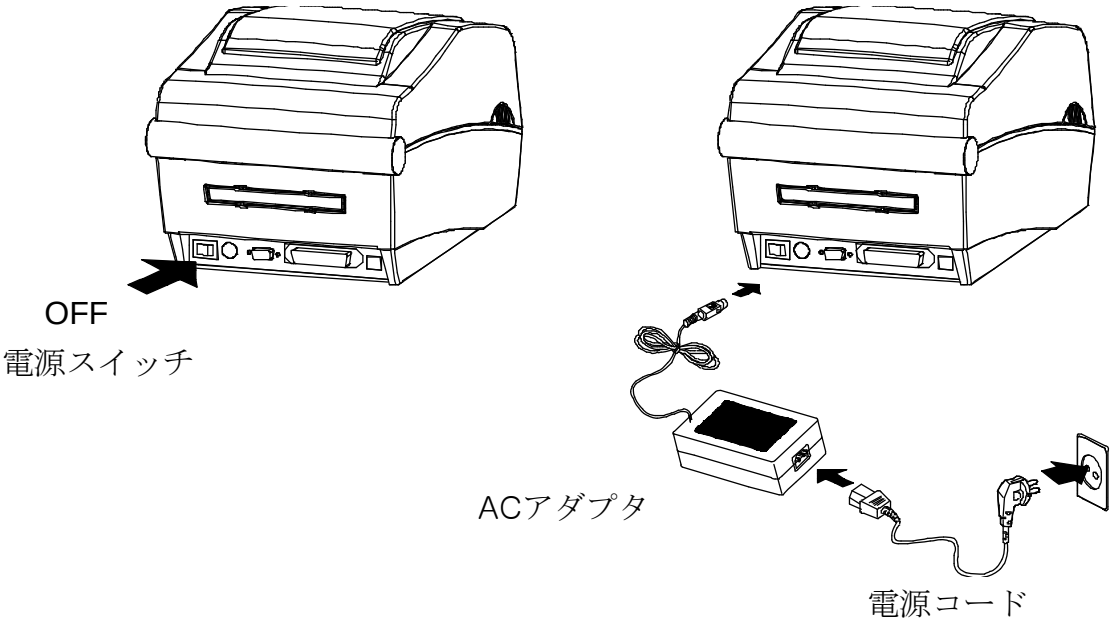


外付けペーパーサプライヤ
(オプション)

3. 取り付け&使用

3-1 電源の接続

電源は以下のようにプリンタに接続してください。



1) プリンタの電源をオフにします。

2) ACアダプタの電圧と電源の電圧が合致することを確認します。

3) ACアダプタのコネクタをプリンタの電源ジャックに接続します。

4) ACアダプタに電源コードを接続します。

5) 電源コードを壁にある電源コンセントに差し込みます。

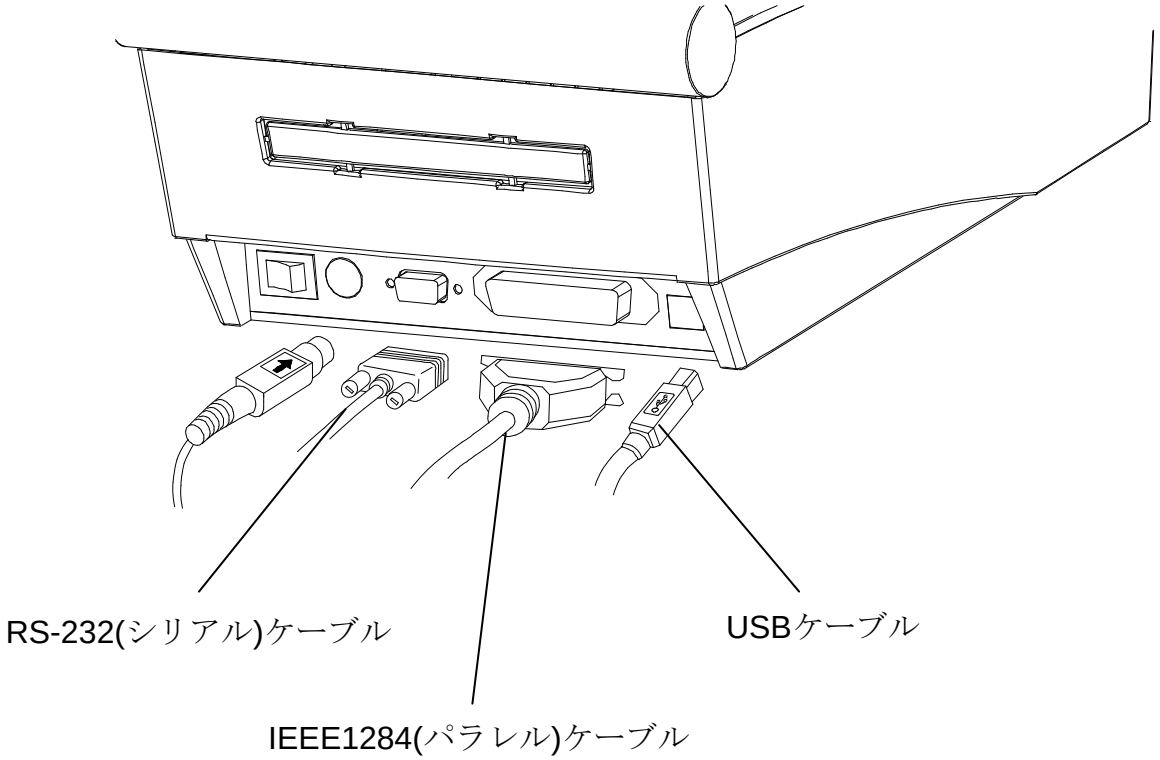
3-2 インターフェースケーブルの接続

3-2-1 Standard Model

インターフェースケーブルは以下のようにプリンタに接続してください。

このプリンタは以下の通信インターフェースに対応しています。

- RS-232C(シリアル)ケーブル
- IEEE1284(パラレル)ケーブル
- USB B-Typeケーブル



1) 電源をオフにします。

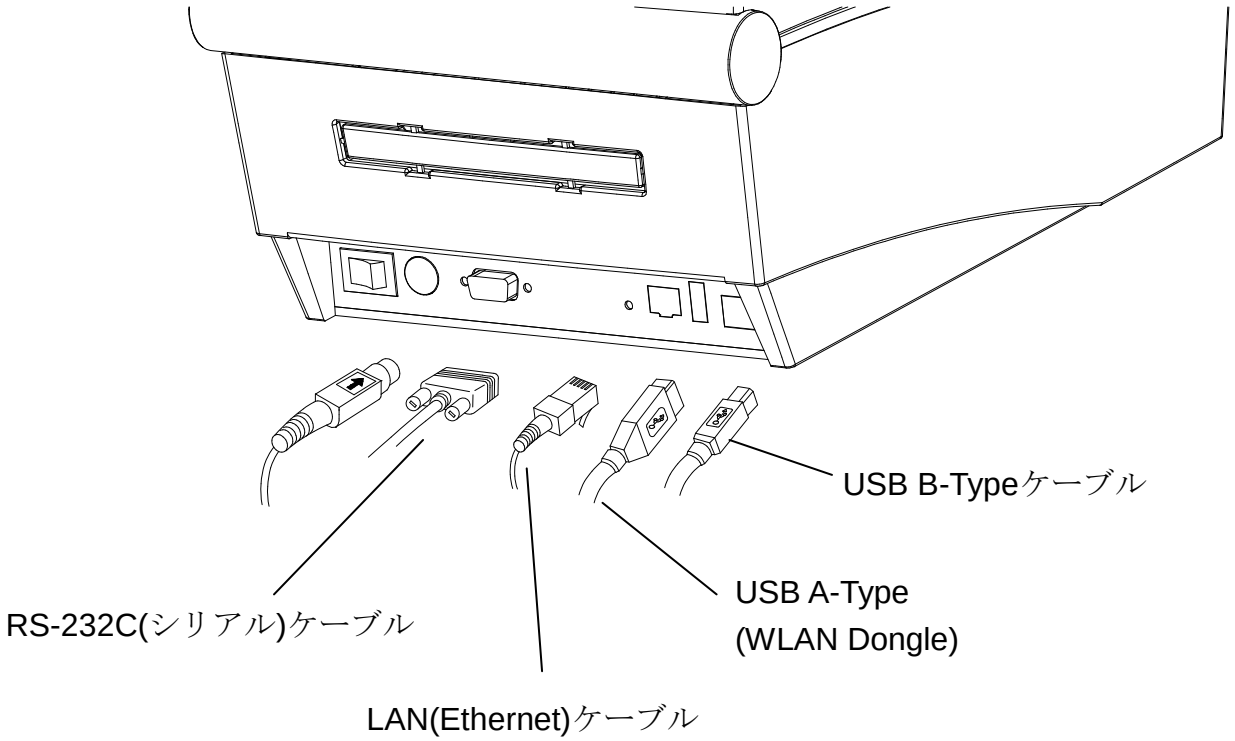
2) 通信ケーブルをプリンタの通信ポートに接続します。
   - シリアルポートにRS-232C(シリアル)ケーブルを接続し、両側のねじを締めて固定します。
   - パラレルポートにIEEE1284(パラレル)ケーブルを接続し、両側のクリップを締めて固定します。
   - USBポートにUSB B-Typeケーブルを接続します。

3-2-2 Ethernet Model(SLP-TX40xE)

インターフェースケーブルは以下のようにプリンタに接続してください。

このプリンタは以下の通信インターフェースに対応しています。

- RS-232C(シリアル)ケーブル
- LAN(Ethernet)ケーブル
- USB A-Type(WLAN Dongle)
- USB B-Typeケーブル

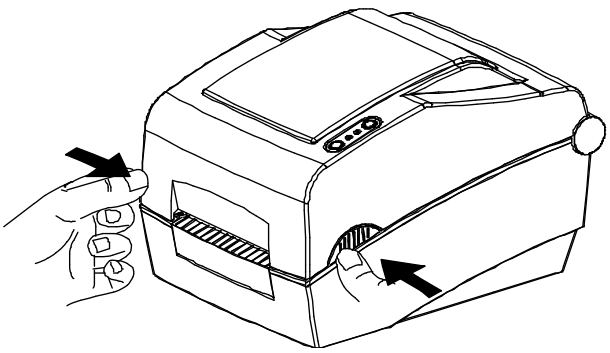


1) 電源をオフにします。

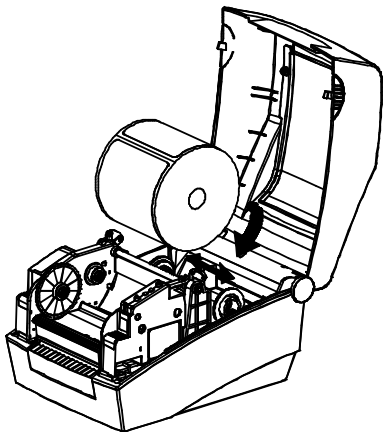
2) 通信ケーブルをプリンタの通信ポートに接続します。
   - シリアルポートにRS-232C(シリアル)ケーブルを接続し、両側のねじを締めて固定します。
   - ETHERNETポートにLAN(Ethernet)ケーブルを接続します。
   - HOSTポートにUSB A-Type(WLAN Dongle)を接続します。
   - USBポートにUSB B-Typeケーブルを接続します。

3-3 紙の取り付け

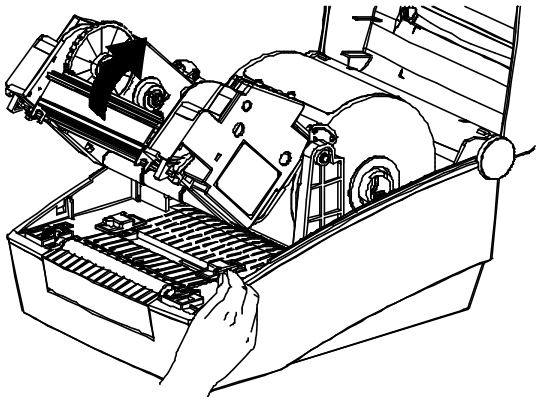
1) ペーパーカバーを開ける。



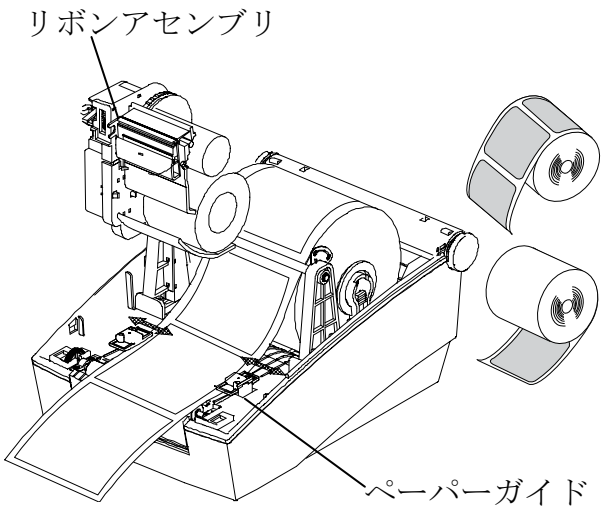
2) ペーパーホルダーを広げ、以下のように紙を入れる。



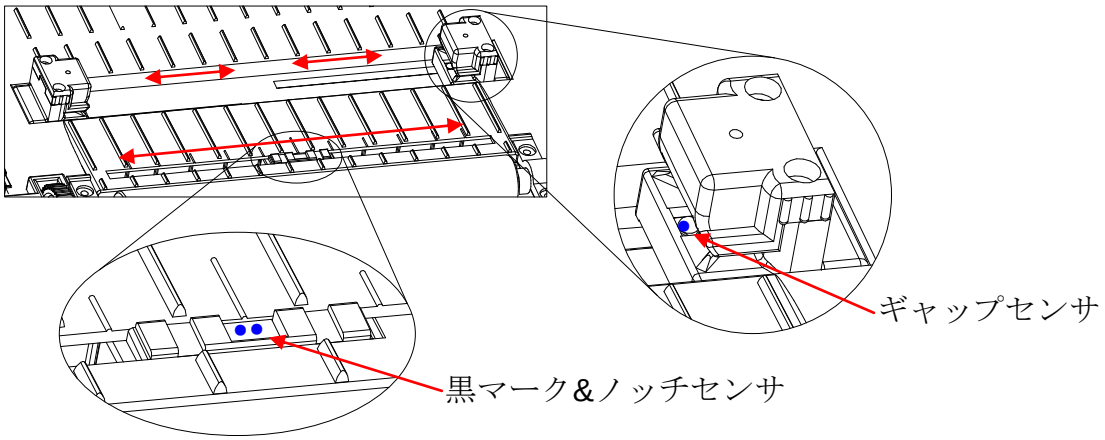
3) リボンアセンブリを開け、ペーパーガイドを広げる。



4) 紙を両側のペーパーガイドの間に入れる。



5) 紙取り付け後、センサ(ギャップ&黒マーク)とペーパーガイドを調節する。

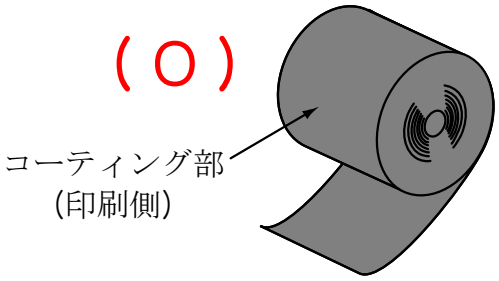


6) リボンアセンブリおよびペーパーカバーを「カチッ」と音がするまで閉じる。

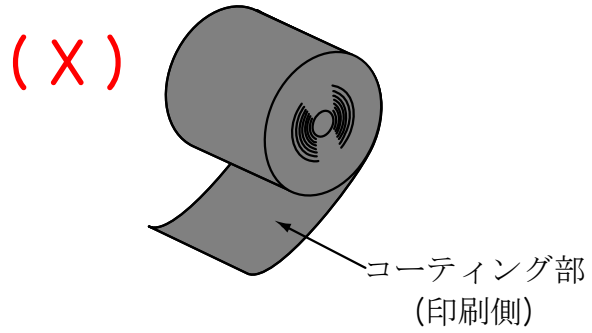
3-4 リボンの取り付け

3-4-1 リボンの種類

1) フィルムコーティングタイプ
- リボンは外向きのもの以外は使用できません。購入前にお確かめください。



外向きリボン



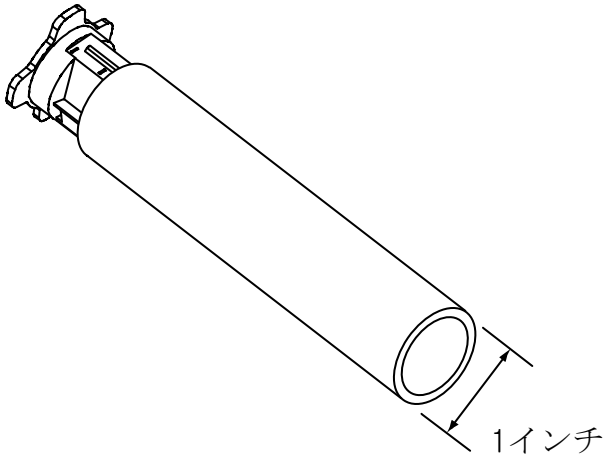
内向きリボン

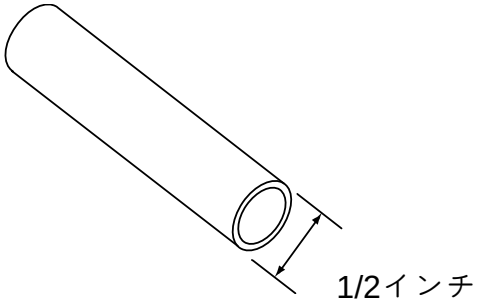
※ 注意
- リボンのコーティング部を確認するには以下の手順に従ってください。

• 粘着物質を使って調べる
  - 使用できるラベルがある場合は、コンタクトテストでリボンのコーティング部を確認してください。

• コンタクトテストの手順
  - ラベルを裏紙からはがす。
  - ラベルの粘着面をリボンの外部／内部表面に重ね、圧力をかける。
  - リボンからラベルをはがす。
  - ラベルの粘着面に黒いインクリボンがついているかどうか確認します。

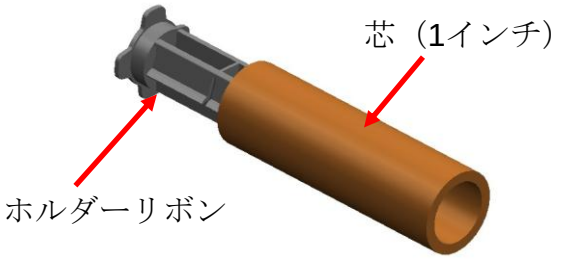
2) ロール芯タイプ
- このプリンタでは1インチおよび1/2インチの芯のリボンが使用できます。
- 1インチ芯の場合はロール芯が必要となります。
- ホルダーリボンと使用後のロール芯は再利用しますので捨てないでください。





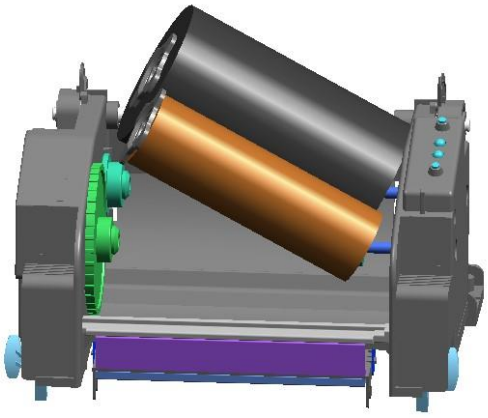
3-4-2 1インチ芯リボンの取り付け

1) ホルダーリボンを芯に入れます。

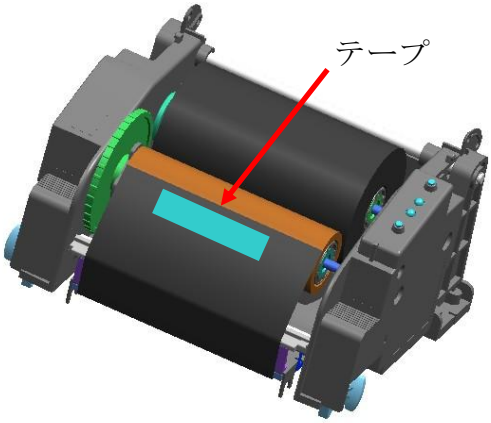


2) ホルダーリボンをリボンに入れます。
(リボンの印刷方向を確認してください)

3) リボンアセンブリを開け、リボンと芯を左から右に押していれます。



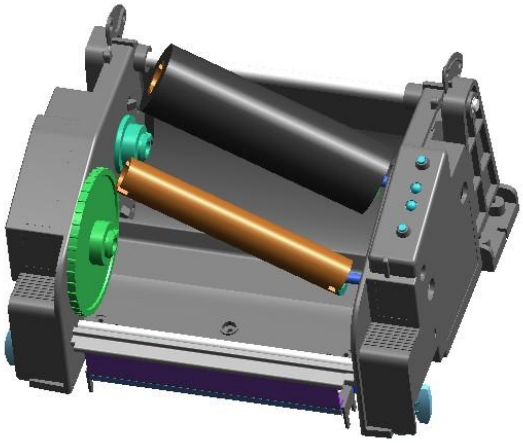
4) リボンのコイル部にテープを貼ります。



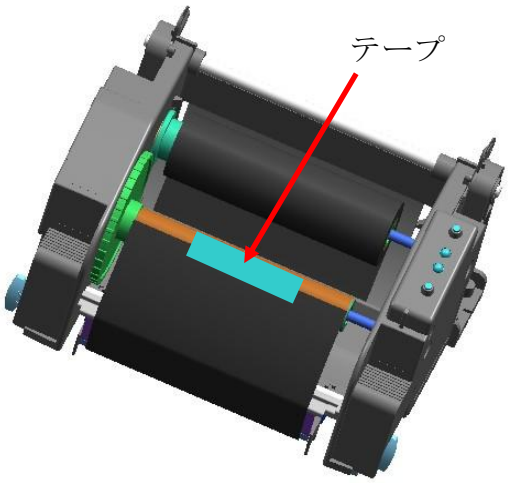
5) クローズ部を押しリボンアセンブリを閉じます。

3-4-3 1/2インチ芯リボンの取り付け

1) リボンアセンブリを開け、リボンと芯を左から右に押して入れます。



2) リボンのコイル部にテープを貼ります。

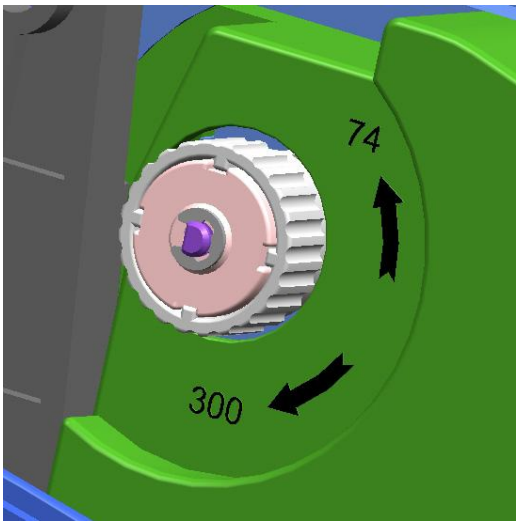


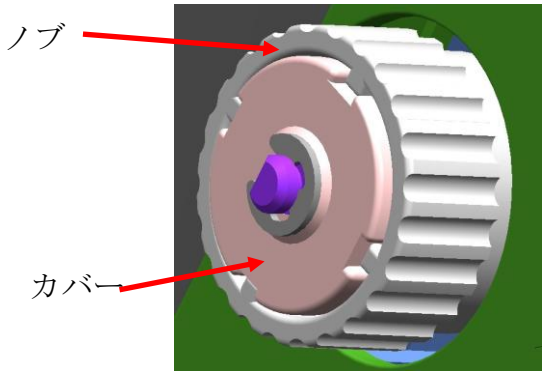
3-4-4 リボン長さによるノブの調整

このプリンタでは74m、100m (0.5” 芯)および 300m (1” 芯)のリボンがすべて使用できます。リボンの長さ（74mー300m）に合わせてノブを正しく調整してください。
印刷の質や動作に影響が出ますので、注意してください。

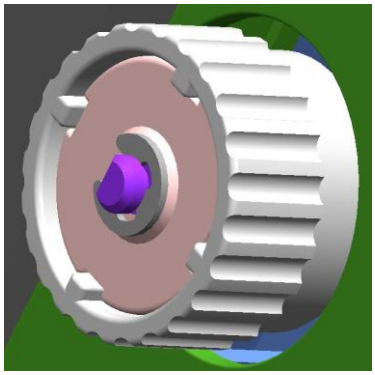
- 製品は工場出荷時 300m **(1” 芯)**のリボン用に調節されています。74m **（0.5”芯）**のリボンを使用する際は、ノブを74m方向に回転して調節**(回転)**してから使用してください。

- 図Aのようにカバーがノブの外部にある場合は、リボンの長さは74mに設定されています。図Bのようにカバーがノブの内部にある場合は、リボンの長さは300mに設定されています。

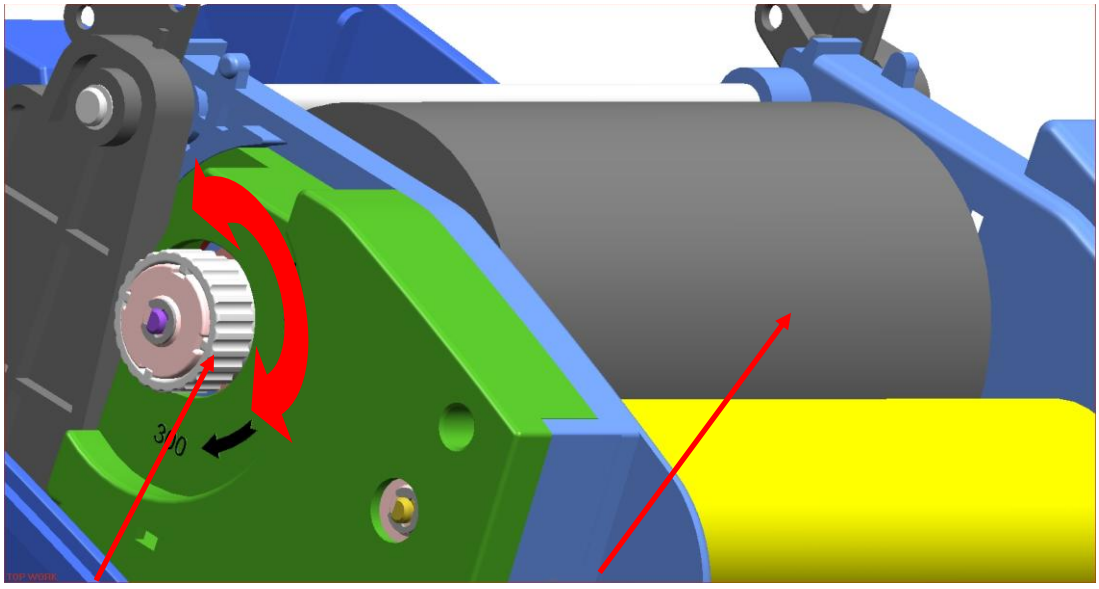




図A (74m)


図B (300m)

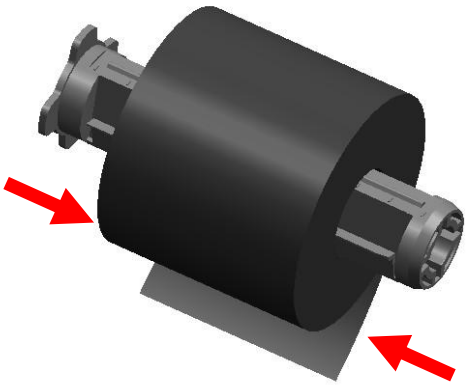
■ ノブの調節
– リボンを設置中につかみ、ノブを図のように回転させてください。



ノブ　　リボン

3-4-5 細いリボンの取り付け

幅が110mm以下のリボンを使用する際は、ホルダーリボンの中央に取り付けてください。

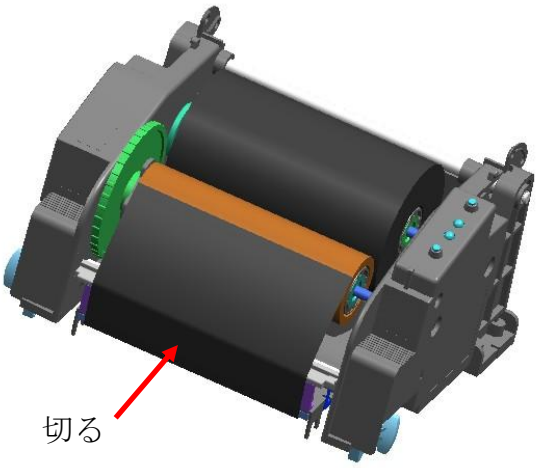


3-4-6 リボンの取り外し

1) ナイフなどの鋭いものを使ってリボンを切ります。
(怪我をしないように注意してください)

2) リボンアセンブリを開け、リボンと芯を左から右に押して取り外します。

3) リボンと芯からリボンホルダーを外します。



3-4-7 リボンセンサのアクティベーション

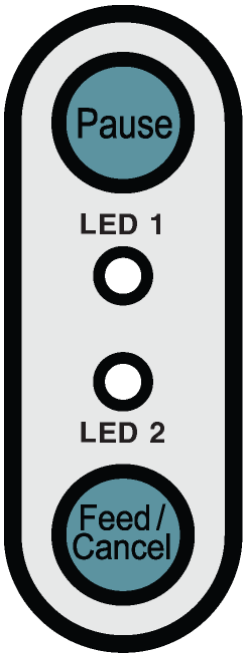
工場出荷時は基本的にリボンセンサが動作しないように設定されています。リボンがなくなったり切れた際にも印刷し続ける場合、リボンセンサの動作設定状態を確認してください。

* コマンドを利用してリボンセンサを動作するように設定することができ、Unified Label Utility を利用してプリンタの基本設定を変更することもできます。

※ 注意

1. リボン交換時は使用済みリボンの芯を反対側のリボンコイル部に固定します。また芯は再利用するので、捨てないでください。
2. リボンホルダーは再利用しますので、なくさないように注意してください。

3-5 LED ディスプレイ



3-5-1 ボタンの操作

操作前のプリンタ状態	ボタン		詳細操作	プリンタ動作モード
	Feed/ Cancel	Pause		
電源OFF	押す	-	• ボタンを押した状態で電源を入れる。 • 約5秒間押し続ける	自己診断印刷モード
印刷待機	押す	-	• 軽く押してから離す	フィードモード
印刷待機	-	押す	• 2秒間押し続ける	プリンタ単独設定モード
印刷中	押す	-	• 軽く押してから離す	印刷キャンセルモード
印刷中	-	押す	• 軽く押してから離す	印刷ポーズモード

3-5-2 プリンタの現状況はプリンタのLEDディスプレイから確認できます。

LED 1		LED 2		Printer Status	
カラー	状況	カラー	状況		
緑	点灯	緑	点灯	印刷待機モード	印刷待機状態
赤	点灯	赤	点灯	エラーモード	リボンが感知できません
赤	点灯	オレンジ	点灯	エラーモード	ペーパージャム(ギャップ/黒マークが認識できません)
赤	点灯	緑	点滅	エラーモード	プリンタヘッドOver-Heat
赤	点灯	赤	点滅	エラーモード	カバーが開いています
赤	点灯	オレンジ	点滅	エラーモード	紙切れ
赤	点灯	-	オフ	エラーモード	紙設定失敗 (Media Calibration Failure)
赤	点滅	赤	点滅	エラーモード	自動カッターエラー (Auto-Cutter Error)
オレンジ	点灯	オレンジ	点灯	モード転換通知	モード転換通知
緑	点滅	赤	点灯	入力待機	印刷一時停止状態。ボタン入力待機
緑	点滅	緑	点滅	入力待機	カバークローズモード。ボタン入力待機
緑	点灯	赤	点滅	入力待機	印刷キャンセルモード。ボタン入力待機

3-6 テスト印刷

3-6-1 Windowsドライバを使用した印刷

1) Windowsドライバをインストールします。
   インストール手順についてはCD上の「Windowsドライバマニュアル」を参照してください。

2) Windowドライバの「ポート」を使用するインターフェースに合わせて設定します。
   Ethernetインターフェース使用時はCD上の「Ethernetインターフェースマニュアル」をご覧ください。

3) Windowsドライバの「テストページの印刷」機能よりテスト印刷を行います。

3-6-2 ラベルデザインプログラムを使用した印刷

- ラベルデザインプログラムはCDに収められています。

1) ラベルデザインプログラムをインストールします。

2) CD上の「ラベルデザインプログラムマニュアル」を参照し、インターフェースを設定します。

3) ラベルをデザインし、テスト印刷を行います。

4. 自己診断

プリンタを初めて設定する場合、または問題がある場合、実行してプリンタの次の状態を確認することができます。

- ファームウェアバージョン、プリンタ設定状態、印刷の品質および周辺機器の設定情報など

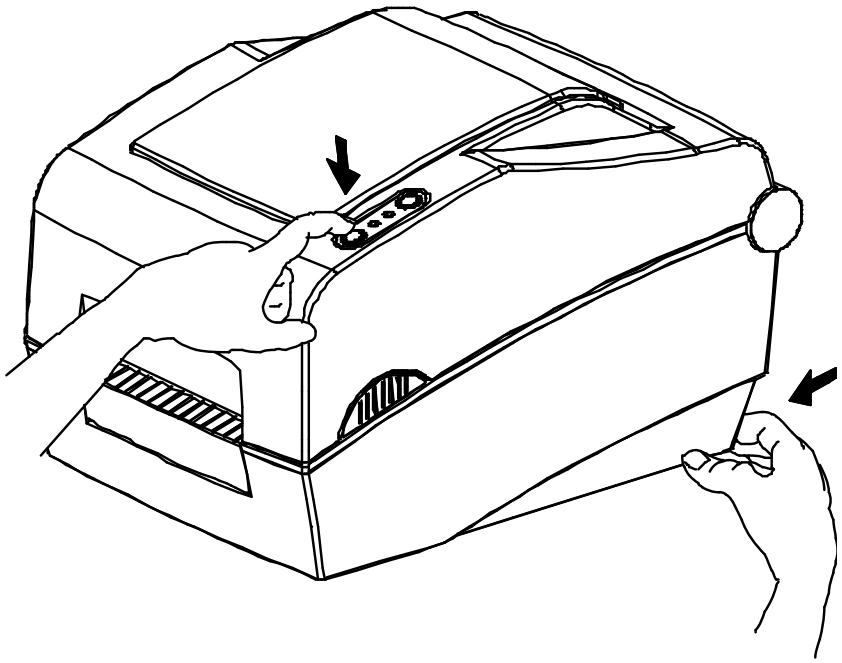
自己診断の結果、プリンタに問題がない場合、他の機器やソフトウェアを調べてください。この機能は他の機器やソフトウェアと独立的に動作します。

自己診断は以下のように行います。

1) ペーパーロールが正しく取り付けられていることを確認します。

2) プリンタの電源をオフにしてペーパーカバーを閉じてください。

3) Feedボタンを押したまま電源をオンにします。自己診断を開始します。
(約5秒間押し続ける)



5. 詳細な機能

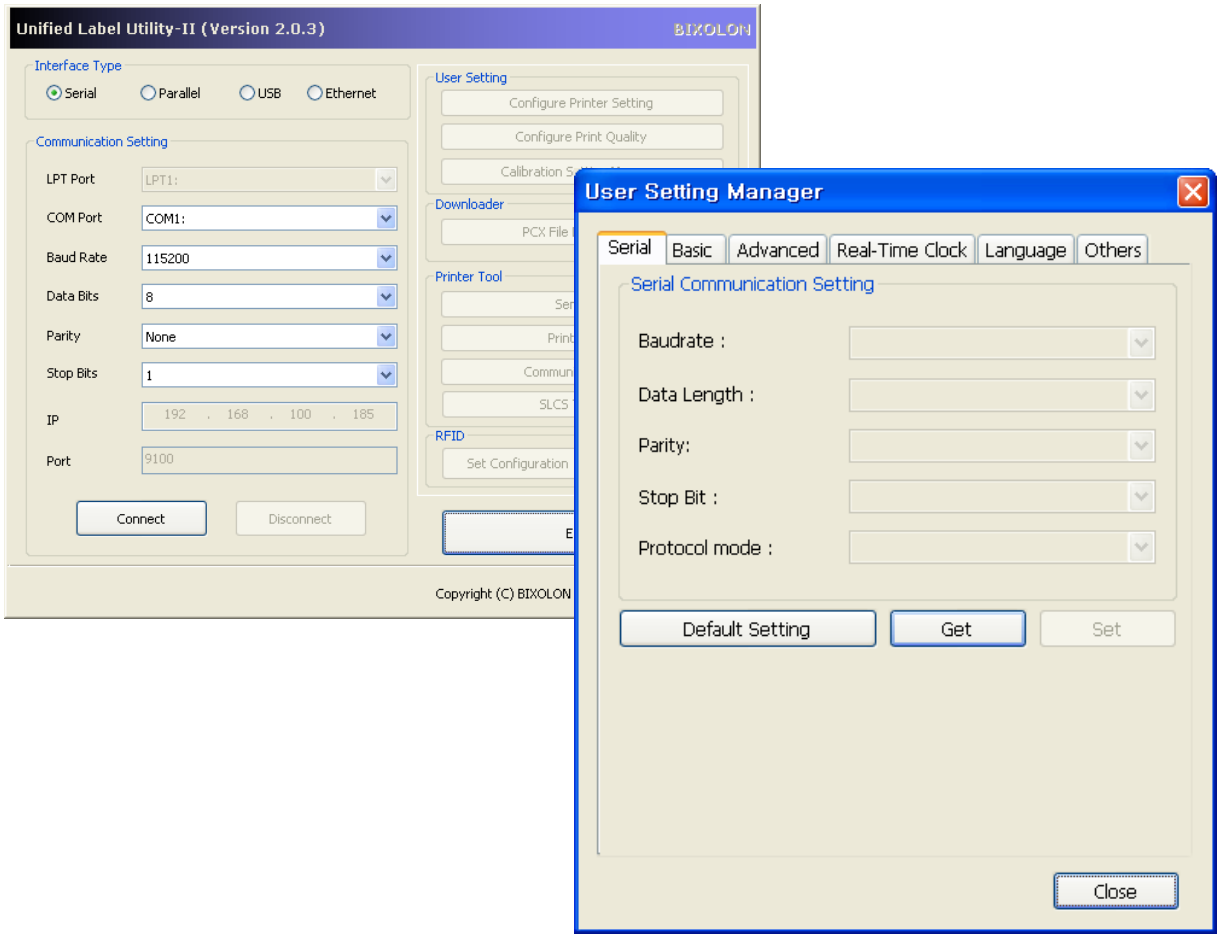
5-1 ユーティリティプログラムを使ったプリンタ設定

ユーティリティプログラムを使うと、プリンタの基本的な設定を変更することができます。

ユーティリティプログラムには以下の機能があります。

1) シリアル通信設定
   ハンドシェーク、ストップ Bit、データ Bit、パリティ、ボーレートなどを設定できます。
2) プリンタ基本設定
   紙のサイズ、印刷速度および濃度、紙の種類、リボン使用有無などを設定できます。
3) 言語設定
   基本コードページを設定できます。
4) メディアセンサ手動補正機能
   メディアセンサの自動補正を通じても感知されない特殊な形態または材質の紙を
   感知するために使います。詳細はメディアセンサ手動補正ページを参照してください。
5) その他プリンタテスト用機能を提供します。

詳細は CD 上の「United Label Printer Utility マニュアル」を参照してください。



5-2 プリンタ単独設定モード (Stand-alone Configuration Mode)

ボタンと LED 操作によってプリンタの多様なモードを実行することができます。

5-2-1 プリンタ単独設定モードの開始方法

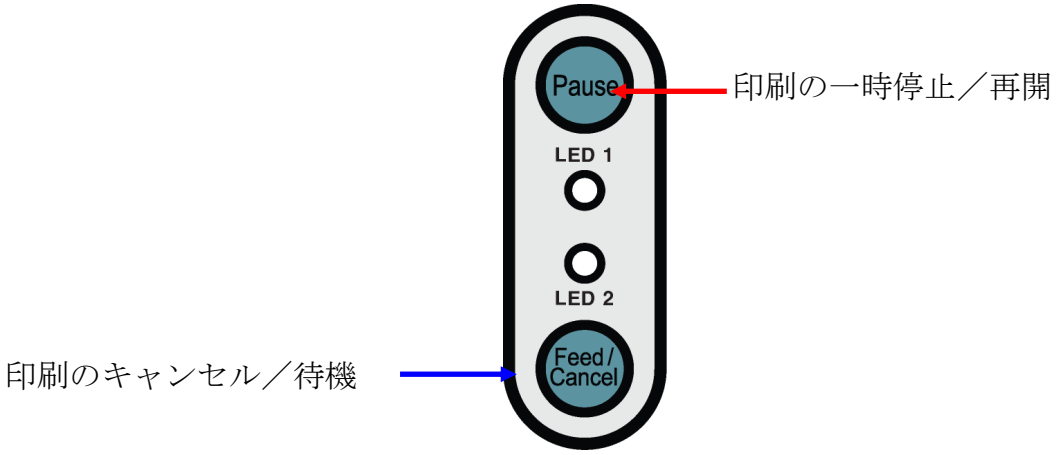
- 印刷待機モードでポーズボタンを2秒間押すと、プリンタ設定モードに転換します。
- LEDが両方ともオレンジ色に変わり、プリンタ単独設定モードが実行されます。
- プリンタ設定モードに入ると、LED 1とLED 2の状態が順次変わります。
- 特定カラーの組み合わせでフィードボタンを押せば、該当するプリンタ動作が実行されます。

5-2-2 サポート機能リスト

番号	LED 1		LED 2		プリンタの動作
	カラー	状況	カラー	状況	
1	緑	点灯	緑	4回点滅	プリンタ設定情報ページ出力
2			オレンジ	4回点滅	ファイルリスト出力
3			赤	4回点滅	工場設定に初期化(Factory Reset)
4	オレンジ	点灯	緑	4回点滅	ギャップセンサー自動補正
5			オレンジ	4回点滅	ブラックマークセンサー自動補正
6			赤	4回点滅	受信データ出力モード(Data Dump)実行
7	赤	点灯	緑	4回点滅	-
8			オレンジ	4回点滅	-
9			赤	4回点滅	-

5-3 ポーズ/キャンセル

複数のページにわたるプリントジョブ実行中には、ポーズボタンおよびキャンセルボタンを使って印刷の一時停止およびキャンセルを行うことができます。



5-3-1 一時停止／再開機能

1) ラベルプリント中にポーズボタンを押します。

2) 印刷中のラベルが完了後に印刷が一時停止します。LED状況も変わります。
   - LED 1: 緑点滅
   - LED 2: 赤点灯

3) プリントジョブ停止中にポーズボタンを押すと、印刷を再開します。

5-3-2 印刷のキャンセル

1) ラベル印刷中および一時停止中にキャンセルボタンを押します。

2) キャンセルモードに入ります。

3) キャンセルモードでは以下が実施されます。
   - ラベル印刷がすべてキャンセルされます。
   - プリンタ通信バッファで受信されたすべてのデータが消去されます。
   - 受信データがすべて消去されます。

4) キャンセルモードではLEDは以下のようになります。
   - LED 1: 緑点灯
   - LED 2: 赤点滅

5) キャンセルモード中にキャンセルボタンを再度押すと、待機モードに入ります。

5-4 メディア設定 (Media Calibration)

プリンターは大部分の用紙でギャップを認識できるようになっていますが、時々特殊な性質の用紙を使う場合、プリンターがギャップを認識できなくて用紙をずっと給紙することがありえます。このような場合、センサー自動補正を遂行してプリンターがギャップを認識できるようにしてください。BIXOLONプリンターは色々な形態の特殊な用紙を使うことができるように多様なメディア設定方式を提供します。

5-4-1 メディア設定とは？

- 正確な印刷位置を制御するために紙感知センサの感度を調整し、紙の実際の長さを測定することを意味します。
- センサ感度調整
  - 取り付けられているラベル用紙のセパレーター(ギャップ/黒マーク/溝など)を正確に検出する
- 用紙長さ測定
  - 印刷方向を回転するために正確な長さを調べる
  - 用紙の種類の変更有無を検出する

5-4-2 メディア設定が必要な場合

- プリンタを初めて取り付ける場合
- 他の種類の用紙に交換する場合
- 正確な位置に印刷されない、または正確な位置に止まらない場合

5-4-3 メディア設定

- 場合によって以下のように4つのメディア設定を使うことができます。
  - メディア自動感知 (Smart Media Detection)
  - ギャップセンサー自動補正モード (Gap Sensor Auto Calibration Mode)
  - ブラックマークセンサー自動補正モード (B/M Sensor Auto Calibration Mode)
  - メディア手動補正モード (Manual Calibration Mode)
- 多様なメディア補正が存在する理由
  - メディア補正のためには数枚のラベルをスキャンし、スキャン量が多くなるほどより正確にセンサ感度を調整することができます。
  - ラベル用紙の材質、カラー、表面状態、厚さ、ギャップの長さ、Pre-Printedなどの条件によってセンサの感度調整に必要なペーパースキャン量が変わります。
  - 用紙の浪費防止と正確なセンサ感度調整との折衝点を提供するために4つの異なるメディア設定モードが提供されます。
  - 大部分の一般的なラベルの場合、最小のスキャン量でセンサー感度を調整できる　メディア自動感知の実行で充分です。
  - 自動感知 → ギャップセンサー自動補正モードまたはブラックマークセンサー自　動補正モード → 手動補正モードの順に使用します。

5-5 メディア自動感知 (Smart Media Detection)

- ユーザーが操作することなく必要な場合、プリンタが自動的に実行する機能で、大部分の一般用紙は自動感知機能によってメディアを設定することができます。
- 別途の設定がなくてもギャップ用紙と黒マーク用紙を自動的に区分します。
- 用紙の種類によって3枚～5枚程度のラベルがフィードされます。
- メディア自動感知機能が実行される場合
  - プリンタを初めて取り付ける場合、フィードボタンまたは印刷コマンドによって実行されます。
  - フィードまたは印刷中に用紙の長さ変化が感知された場合
  - 設定されている用紙タイプと異なる種類の用紙タイプがコマンドによって入力される場合
  - 工場設定に初期化後
- メディア自動設定モードまたはメディア手動設定モードを利用してセンサ感度を設定した後、メディア自動感知機能がオンになり、工場設定に初期化すれば、再びオンになります。

5-6 ギャップセンサー自動補正モード (Gap Sensor Auto Calibration Mode)

メディア自動感知後にも用紙が正常に感知されない場合に使います。

用紙を給紙しながらギャップセンサーの感度を自動的に補正します。

最大1メートルまでフィーディングして用紙感知に失敗すれば、エラーモードに入ります。
エラーモードはカバーを開閉すれば解除されます。

このモードでも用紙感知に失敗した場合、手動補正モードをご使用ください。

このモードで用紙感知に成功した場合、メディア自動感知機能はOFF状態になります。

5-6-1 実行方法

- 5-2-2(プリンター単独設定モード)の4番目LED状態(LED 1オレンジ / LED 2緑 – 4回点滅)でFeedボタンを押すと、ギャップセンサー自動補正モードが実行されます。

5-7 ブラックマークセンサー自動補正モード (B/M Sensor Auto Calibration Mode)

メディア自動感知後にも用紙が正常に感知されない場合に使います。

用紙を給紙しながらブラックマークセンサーの感度を自動的に補正します。

最大1メートルまでフィーディングして用紙感知に失敗すればエラーモードに進入します。
エラーモードはカバーを開いてから閉じれば解除されます。

このモードでも用紙感知に失敗した場合、手動補正モードをご使用ください。

このモードで用紙感知に成功した場合、メディア自動感知機能はOFF状態になります。

5-7-1 実行方法

- 5-2-2(プリンター単独設定モード)の5番目LED状態(LED 1オレンジ / LED 2オレンジ – 4回点滅)でFeedボタンを押すと、ブラックマークセンサー自動補正モードが実行されす。

5-8 メディア手動補正モード (Manual Calibration Mode)

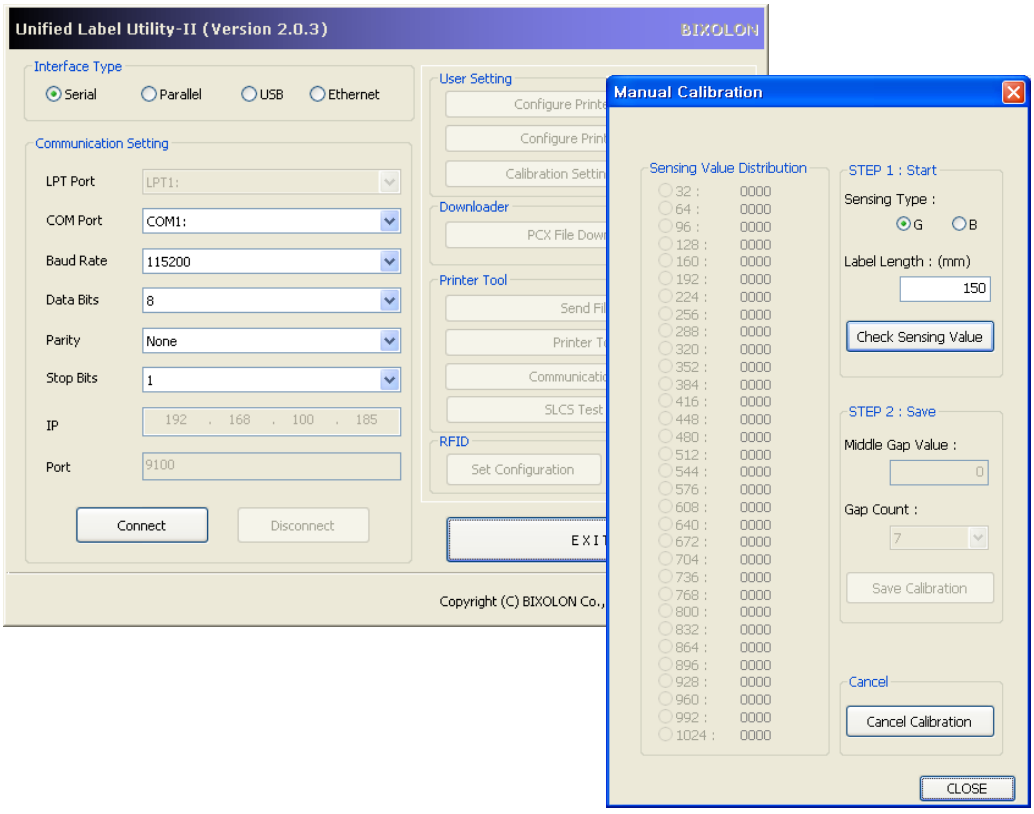
ギャップセンサ手動補正機能は自動補正機能を使った後にも、プリンタがラベル用紙のギャップ(または黒マーク)を認識できない場合に使います。

ギャップセンサ手動補正はユーティリティプログラムを利用して値を調整します。

ユーティリティは同梱のCDに収められているほか、インターネット上でBIXOLON社ウェブサイトwww.bixolon.comからダウンロードすることもできます。

ユーティリティを利用してギャップセンサを手動補正するには以下のように行います。
詳細は「ユーティリティマニュアル」を参照してください。

プリンタが接続されていることを確認し、ユーティリティプログラムを実行します。インターフェースの種類を設定してから「Calibration Setting Manager」ボタンを押します。



1) センサタイプを選択し、ラベルの長さをミリメートル単位で入力して「Check Sensing Value」ボタンを押せばプリンタは調整を始めます。
2) プリンタはキャリブレーション後、スキャンされた値を印刷します。また、値は画面上に表示されます。
3) 最適なセンサ値がユーティリティ画面の左側に表示されます。値をひとつ選び、「Save Calibration」ボタンを押して保存してください。
4) 選んだ値が正しく作用しない場合は、ほかの値を試してください。再び「Save Calibration」ボタンを押してプリンタに保存してください。
5) 「Cancel Calibration」ボタンを押せばプリンタに保存されたキャリブレーション値が消え、基本設定値に初期化されます。

5-9 カバークローズモード (Cover Closing Mode)

1. カバークローズモードとは？
   - プリンタのカバーを開閉した場合、用紙の位置が正確な印刷位置にないため、そのまま印刷すれば印刷物が用紙から外れることがあります。
   - これを防ぐためにカバーを閉じれば、印刷待機モードでないカバークローズモードに転換してユーザーの入力を待ちます。
   - このモードでのLEDの状態は以下のとおりです。
     - LED 1: 緑色に点滅
     - LED 2: 緑色に点滅
   - カバークローズモード状態で受信されたデータは印刷されず、印刷待機モードに戻れば自動的に印刷が始まります。

2. カバークローズモードから印刷待機モードに転換する
   - ポーズボタンを押せば用紙をフィードしないで、すぐに印刷待機モードに戻ります。
   - フィードボタンを押せば用紙を一枚フィードし、用紙位置を合わせた後に印刷待機モードに戻ります。

5-10 受信データ出力モード (Data Dump Mode)

印刷が正常に行われない場合、通信状態を診断するために使う機能です。

このモードでプリンタは受信されたデータを解釈して実行するのではなく、受信された値をそのまま16進数(Hex)形態で出力します。

印刷待機モードに戻るには、プリンタ電源をオフにしてから再びオンにしてください。

5-10-1 受信データ出力モードを始める

1) 印刷待機モードでポーズボタンを2秒間押します。
2) LEDが両方ともオレンジ色に変わり、プリンタ単独設定モードが実行されます。
3) 5-2-2の3番目のLED状態(LED 1緑 / LED 2赤 – 4回点滅)でフィードボタンを押せば、受信データ出力モードが実行されます。

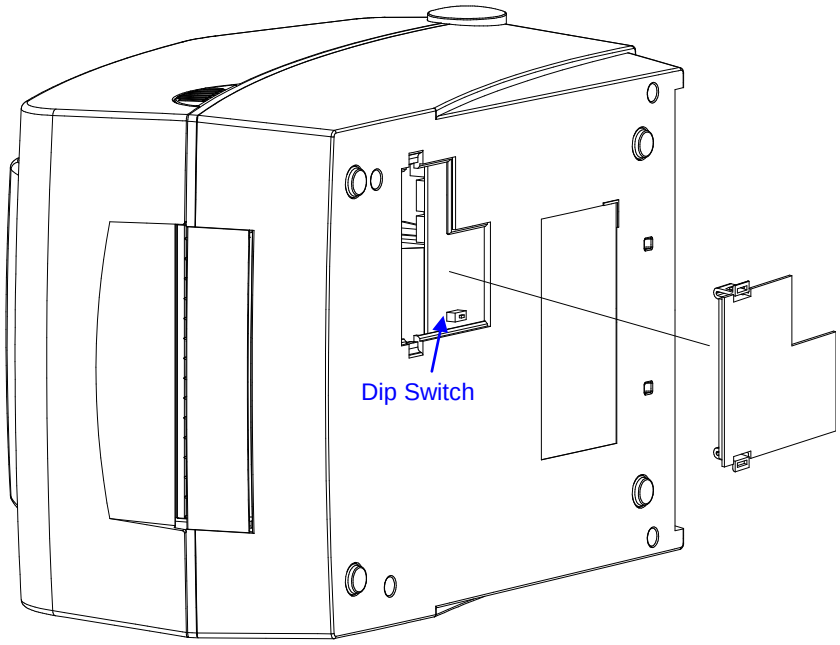
5-11 工場設定に初期化 (Factory Reset)

プリンタ設定を工場出荷時点の仕様に初期化する場合に使います。

5-11-1 初期化する

1) 印刷待機モードでポーズボタンを2秒間押します。
2) LEDが両方ともオレンジ色に変わり、プリンタ単独設定モードが実行されます。
3) 5-2-2の2番目のLED状態(LED 1緑 / LED 2オレンジ – 4回点滅)でフィードボタンを押せば、基本設定値が工場出荷状態に初期化され、メディア自動感知機能が実行されます。

5-12 ファームウェアダウンロード



詳細は CD 上の「ファームウェアダウンロードマニュアル」を参照してください。

※ 注意
作動前にDipスイッチカバーが閉まっていることを確認します。

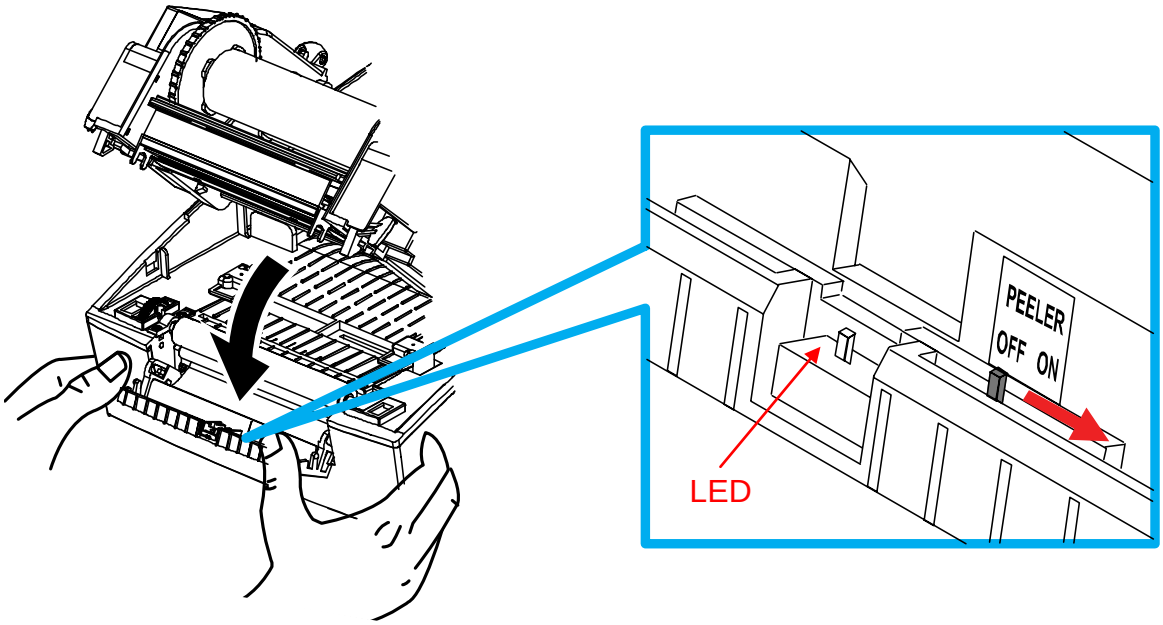
5-13 ピールオフ

ラベルをはがす機能であり、ラベル用紙のみに使用できます。
(ピーラースイッチ調整後は再起動して作業を認識させてください。)

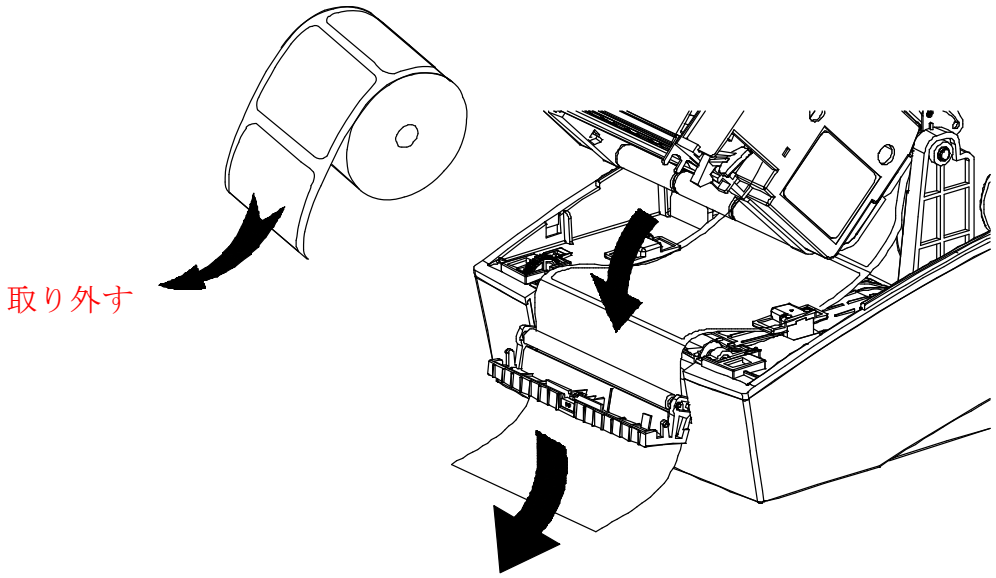
1) ペーパーカバーを開けます。

2) リボンアセンブリを開けます。

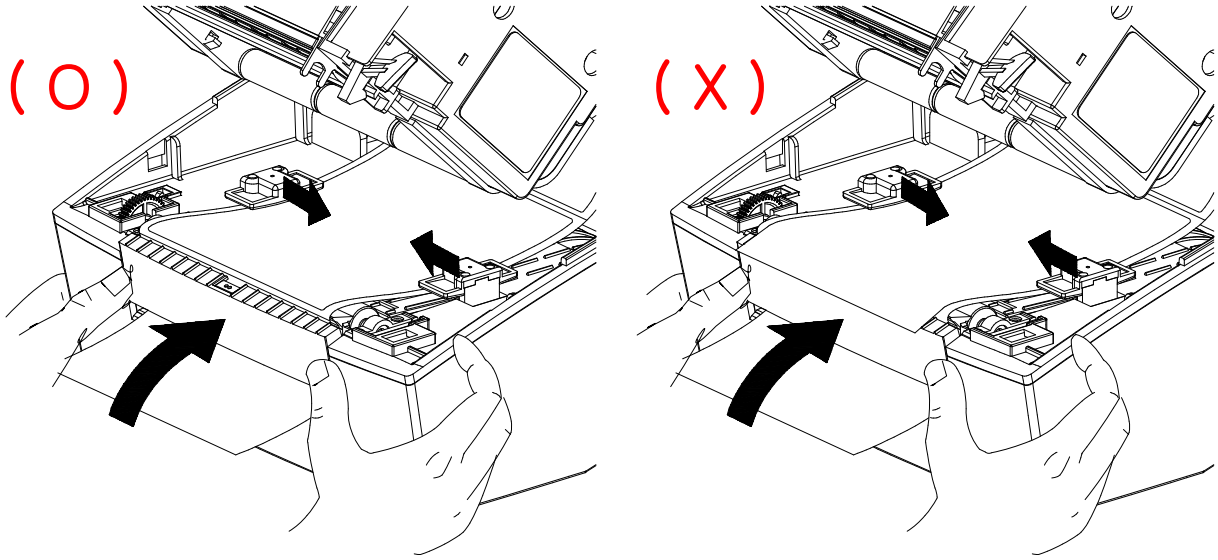
3) ラベルピールオフカバーを開け、ピーラースイッチをオンにします。
- LEDが点灯するのを確認してください。



4) ラベル用紙を1枚取り出し、下図のように用紙を挿入します。
- ピーラースイッチをオンにしてからラベルを取り外してください。



5) ペーパーガイドを調節し、ラベルピールオフカバーを閉じます。



6) リボンアセンブリとペーパーカバーを「カチッ」と音がするまで閉じます。

7) プリンタの電源をオフにしてから再びオンにします。

5-14 ファンフォールドペーパーの使用

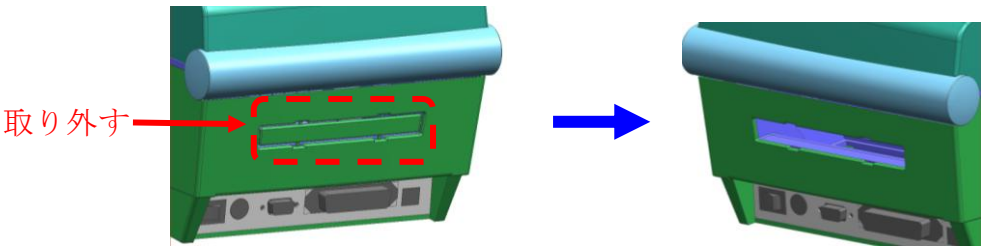
プリンタ外部からの紙送りはつぎのように行います。

5-14-1 プリンタの準備

プリンタ背部のペーパーサプライカバーをナイフなどの刃物を使って取り外します。

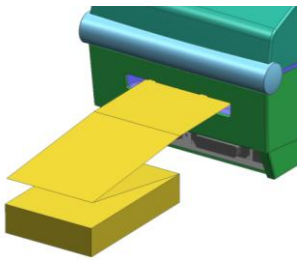
※ 注意

- 手や体に怪我をしないよう注意してください。

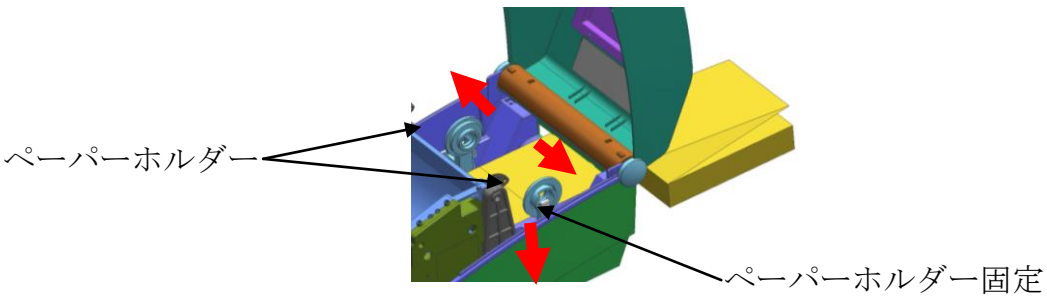


5-14-2 パンフォールドペーパー使用時

1) プリンタ背部のスロットから紙を送ります。

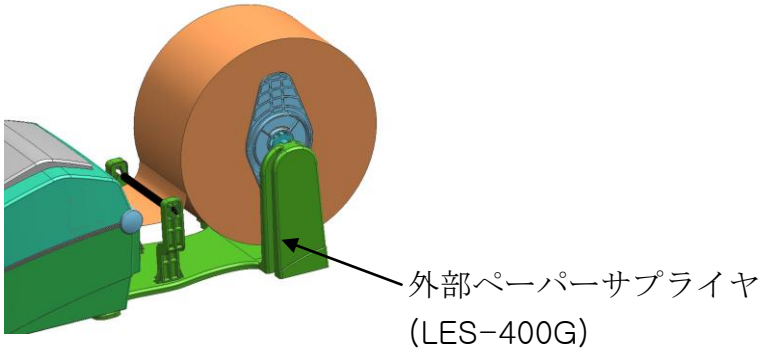


2) ペーパーホルダーおよびガイドを紙の幅に合わせて調節します。



5-14-3 大量ペーパーロール使用時（オプション）

※ 紙はパンフォールドペーパーと同じように設置してください。



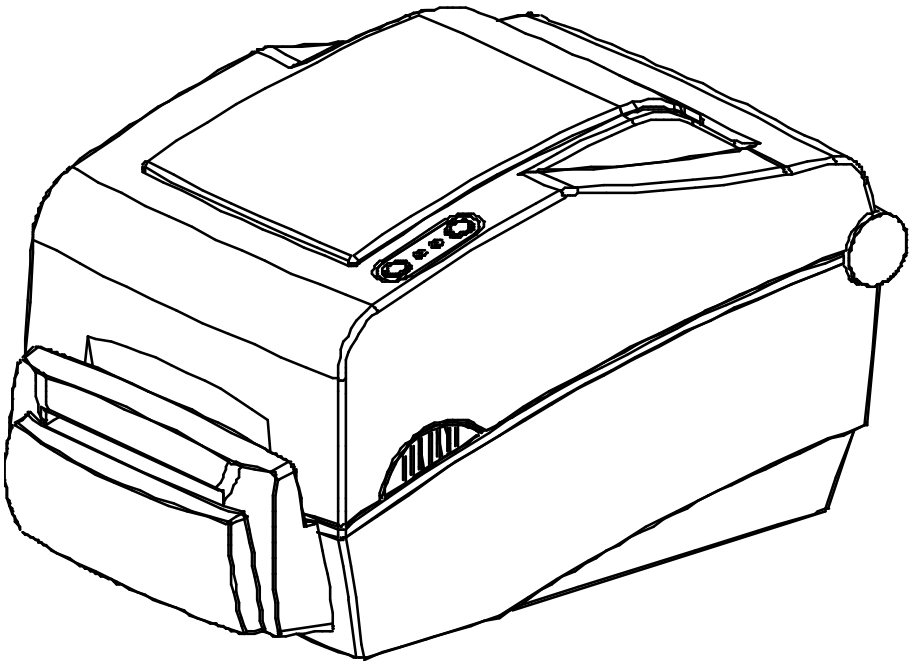
5-15 自動カッター (Auto Cutter / SLP-TX40xC)

紙を自動でカットするために、自動カッター付きの製品もあります。

工場設定では自動カッターは設置されています。

自動カッターコマンドによって制御することができます。Unified Label Utilityを利用して、プリンタ基本設定を自動カッター動作状態に変更することができます。

※ 紙およびリボンの取り付け方は自動カッターのないプリンタと同じです。



6. ヘッドの清掃

埃や異物、粘着物などがプリンタヘッドやプリンタの内部に侵入すると印刷の質が低下することがあります。

プリンタヘッドは以下のように清掃します。

※ 注意

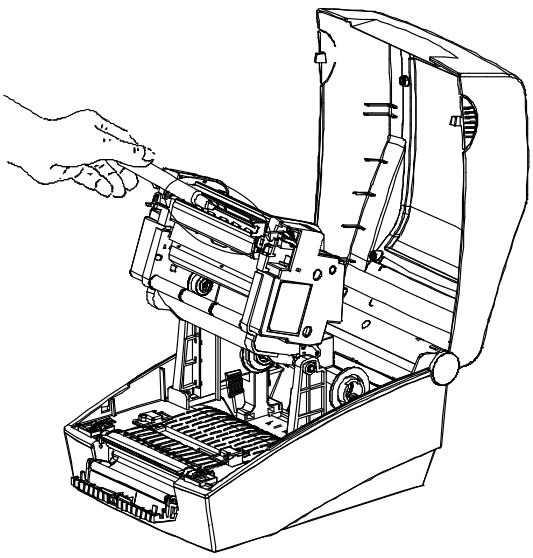
- 清掃前にプリンタの電源を忘れずに切ってください。
- 印刷中はヘッドは非常に高温になります。プリントヘッドの清掃前には、プリンタの電源をオフにし、2~3分待ってから行ってください。
- プリンタヘッド清掃時は、過熱した部分に触れないよう注意してください。
  → プリンタヘッドは静電気などが原因で破損することがあります。
- プリンタヘッドにキズや損傷が起こらないよう注意してください。

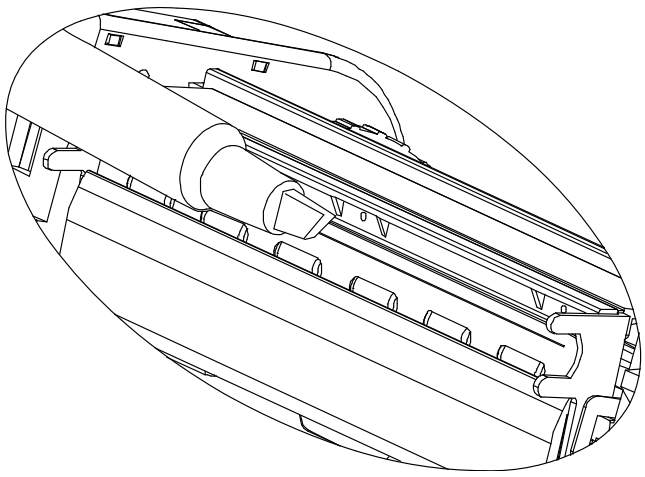
6-1 ヘッドの清掃

1) ペーパーカバーとリボンアセンブリを開け、清掃ペンを使用してヘッドを中心から端に向かって清掃します。

2) ヘッドを清掃した後は、清掃に使用したアルコールが完全に乾くまではプリンタを使用しないでください（1~2分）。

※ 印刷の質の低下を防ぐために清掃はペーパーロールの交換毎に行ってください。





6-2 センサ、ローラーおよびペーパーパスの清掃

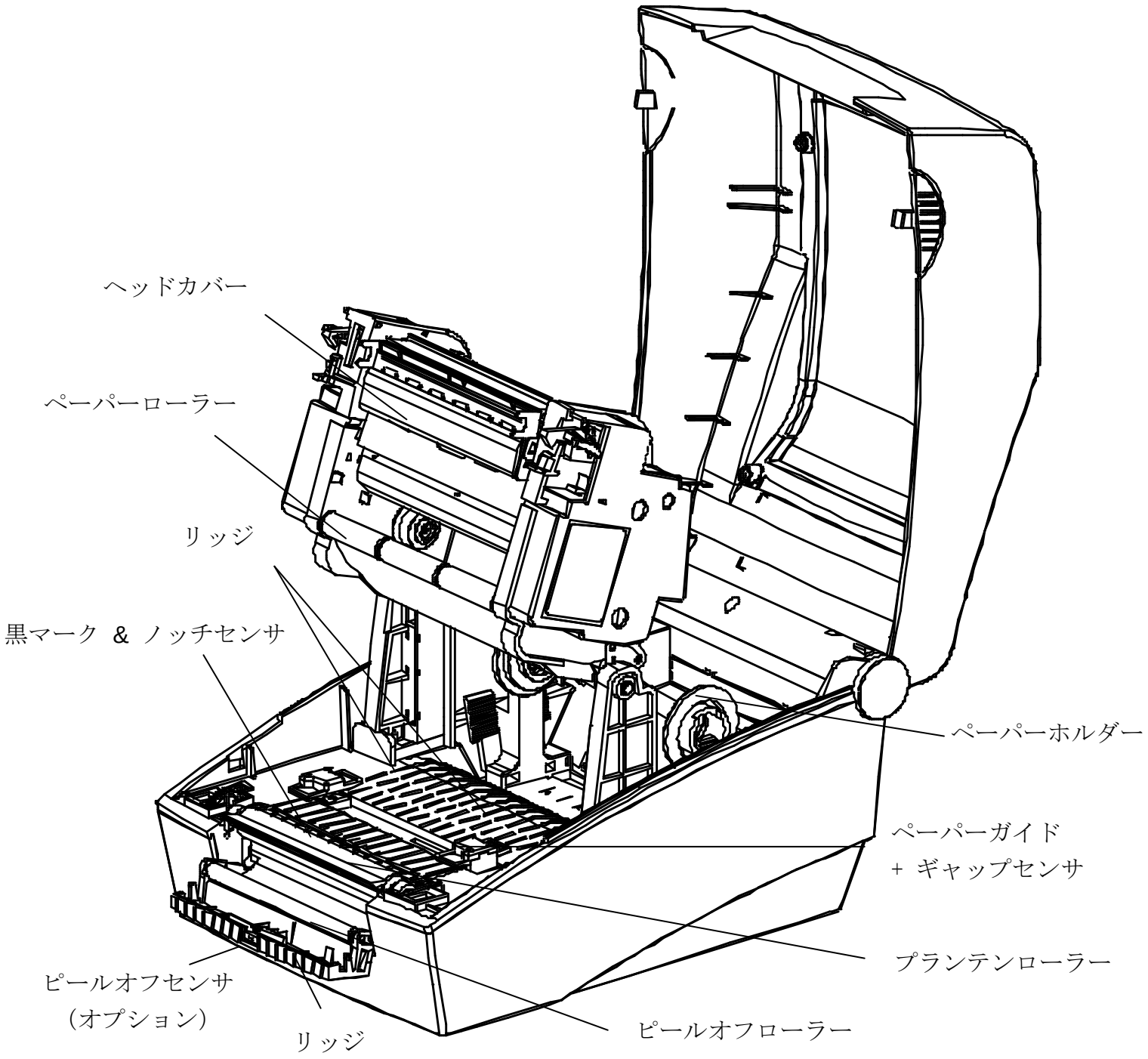
1) ペーパーカバーとリボンアセンブリを開け、ペーパーとリボンを取り外します。

2) 乾いた布やコットンを使って埃や異物を取り除きます。

3) 布やコットンを医療用アルコールに浸し、粘着性のある異物やゴミを除去します。

4) 部品の清掃後は、清掃に使用したアルコールが完全に乾くまではプリンタを使用しないでください（1~2分）。

※ 印刷の質や紙の感知の質に低下が見られたら部品を清掃してください。



7. 付記

7-1 仕様

項目		詳細
プリンタ	プリント方式	サーマルトランスファー ／ダイレクトサーマルプリント
	ドット濃度	SLP-TX400 : 203 dpi (8ドット/mm) SLP-TX403 : 300 dpi (11.8ドット/mm)
	印刷幅	SLP-TX400 : 最大108 mm SLP-TX403 : 最大105.7 mm
	印刷速度	SLP-TX400: 最大178 mm/秒 (最大7ips) SLP-TX403: 最大127 mm/秒 (最大5ips)
紙	幅	25 ~ 116 mm
	ロール	最大130mm
	芯	25.4~38.1mm (1~1.5”)
リボン	長さ/幅	最大300m / 33 ~ 110mm(1.3~4.3”)
	タイプ(外向き)	ワックス、ワックス／樹脂、樹脂
	芯	0.5” / 1”
AC アダプタ	入力電圧	AC 100~240V
	入力周波数	50/60 Hz
	出力電圧/電流	DC 24V
使用環境	温度	5~ 40 ℃ (作動時) -20 ~ 60 ℃ (保管時)
	湿度（紙を除く）	10 ~ 80 % RH (作動時) 10 ~ 90 % RH (保管時)

※ 備考

- プリント速度はデータ送信スピードとコントロールコマンドの組みあわせにより変化します。

7-2 ラベルの種類

• PET